

トレーニングモジュール VIII

レイヤーオブジェクトの追加

1. はじめに

前のモジュールでは、Web 上で空間データを発信するために MapLab の使い方について説明しました。ここではさらに MapLab の特徴を理解して、Web マッピングアプリケーションに新しくマップレイヤーとラベルを追加する手順を説明します。このモジュールのデータソースは、2001 年に DCGM III Working Group の援助のもとで日本の地質調査所によって出版された「Urban Geoscientific Data of East and Southeast Asia GIS data sets of 11 cities, Second Edition」です。

2. 目的

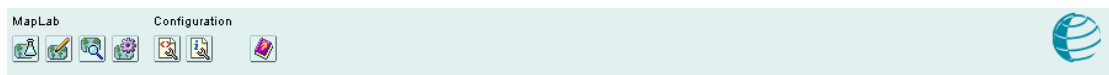
このモジュールの目的をつぎに示します：

- 2.1. MapFiles を編集するために MapLab に精通する。
- 2.2. MapFiles に新しいレイヤーオブジェクトとラベルを追加する。

3. 手順

install.sh スクリプトによって自動的にインストールされた phuket データを使います（/var/www/html/phuket）。

- 3.1. ブラウザで <http://localhost/maplab-2.0-release/htdocs/index.phtml> を開いて MapLab をスタートしてください。



MapLab (2.0.1-release)

MapEdit...

... is a visual administration tool for the editing and management of map files. MapEdit gives you full control over all aspects of a map file and provides validation to ensure your map file structure is correct.

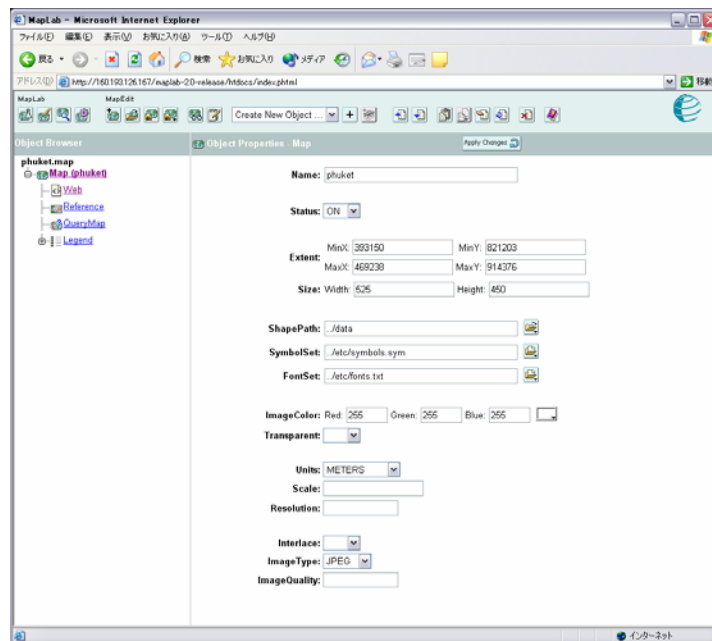
MapBrowser...

... is a tool for the visual selection of spatial data from local and WMS sources. It can also be used to specify a key map view, map size and map projection. When used outside of MapLab, it can act as a stand-alone browser of WMS compliant servers.

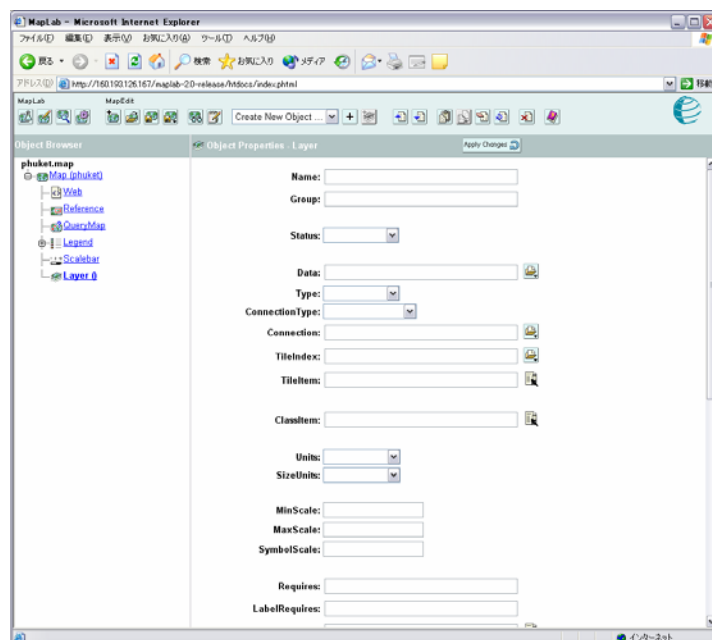
GMapFactory...


... is an intuitive tool for rapid creation and deployment of mapping applications. GMapFactory can be used to define the layout of an application and specify which mapping interface components to include.

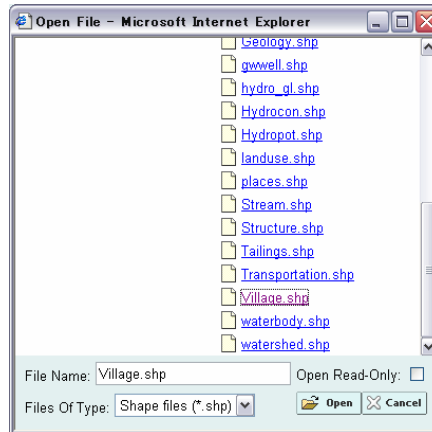
3.2. MapEdit を選択して、MapFile を開いてください。



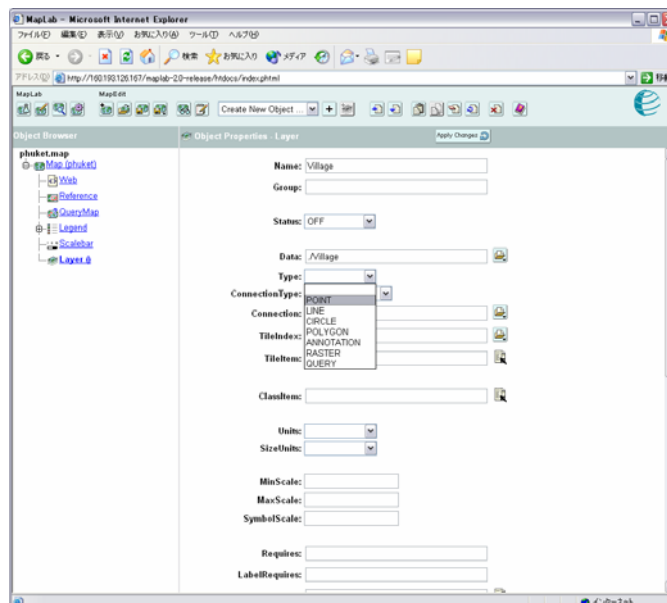
3.3. ツールバーのプルダウンメニューを使って、Layer Object を選択してください。新しくレイヤーオブジェクトを追加するためにボタン を押してください。



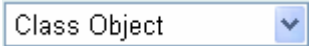

- 3.4. Object Browser の一番下にある Layer() を選択してください。Object Properties にレイヤーのプロパティが表示されるので、その中の Data パラメータの右にあるファイル選択ボタン  をクリックしてください。下の図のように phuket.map で利用できる Shape ファイルが表示されます。Village.shp を選択して Open ボタンを押してください。

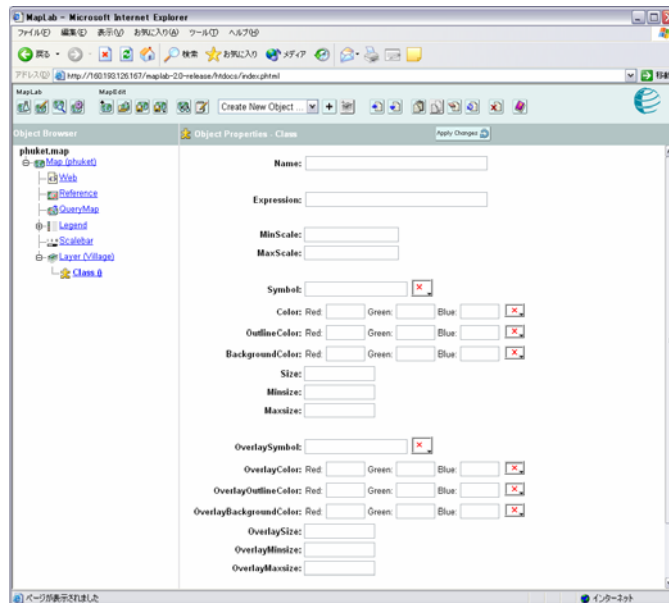


- 3.5. Status パラメータによって、このレイヤーを自動的に表示するかどうかを設定することができます。ここでは OFF に設定して、ユーザーが凡例の隣にあるボタンで表示を設定できるようにします。
- 3.6. 次に、データタイプを指定します。このベクトルデータのタイプが、点 (POINT)、線 (LINE)、あるいはポリゴン (POLYGON) のどれであるかを指定します。Village.shp は点データなので、Type のプルダウンメニューから POINT を選択してください。

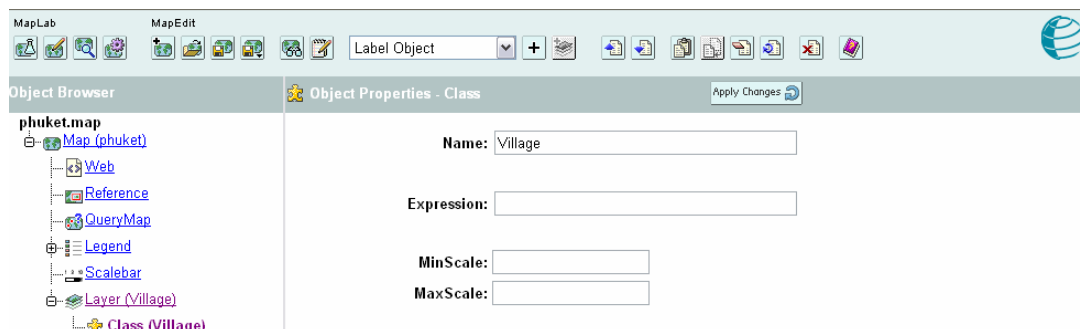



3.7.  をクリックして、MapFile を保存してください。

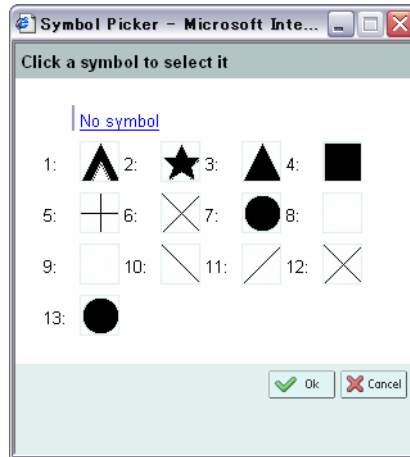
3.8. Object Browser の Layer(Village) をクリックしてください。 ツールバーのプルダウンメニューを使って、Class Object を選択してください 。 クラスオブジェクトを追加するためにボタン  を押してください。 Layer(Village) の下に Class() があらわれます。




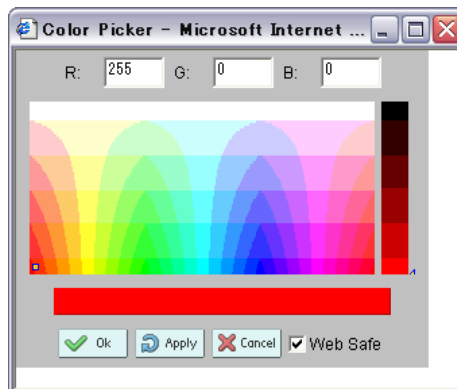
3.9. Name パラメータに Village と入力してください。



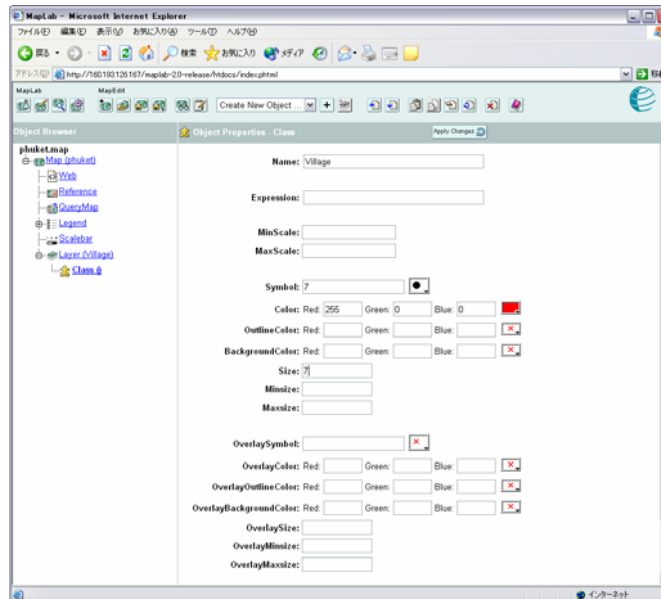
- 3.10. villages に記号を割り当てることができます。Symbol パラメータの右にある記号選択ボタンをクリックしてください。Symbol Picker パネルが表示されます。適切な記号を選択して Ok ボタンを押してください。




- 3.11. 次に記号の色を選択します。Color パラメータで RGB の値を入力するか、マウスで色を選択するためにボタンをクリックしてください。ブラウザによってはマウスで色を選択できません。その場合は、キーボードで RGB 値を入力して色を定義してください。



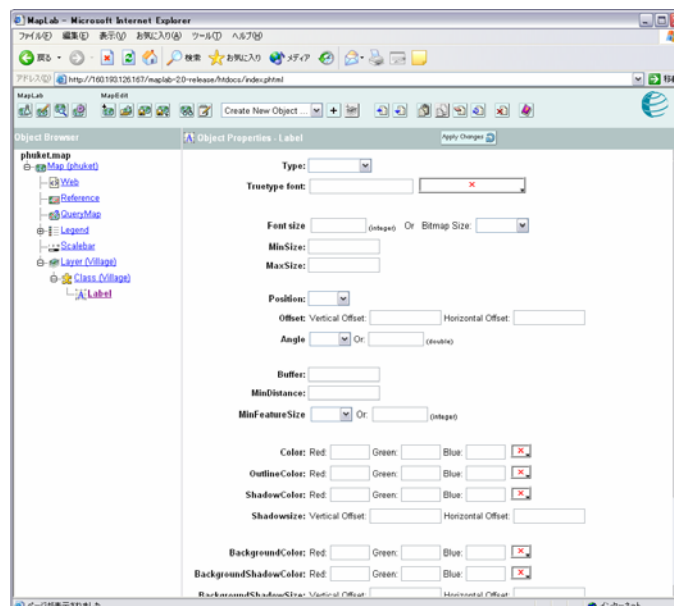
- 3.12. 記号の大きさを指定します。Size パラメータに適切な値を入力してください。




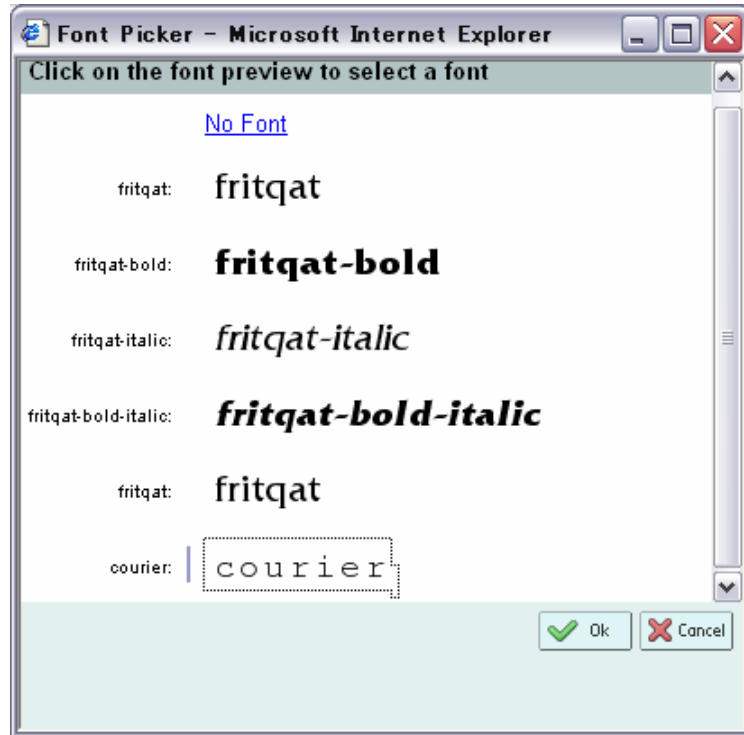
- 3.13.  をクリックして、MapFile を保存してください。

- 3.14. Object Browser の Layer(Village)の下にある Class(Village)を選択してください。ツールバーのプルダウンメニューを使って、Label Object を選択してください。ラベルオブジェクトを追加するためにボタン  を押してください。

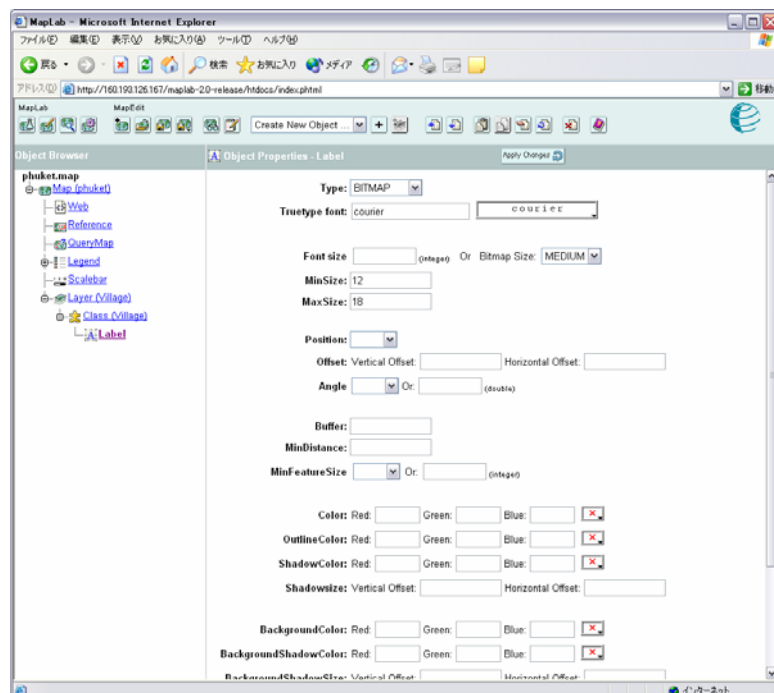
- 3.15. Class(Village)の下に追加された Label を選択してください。



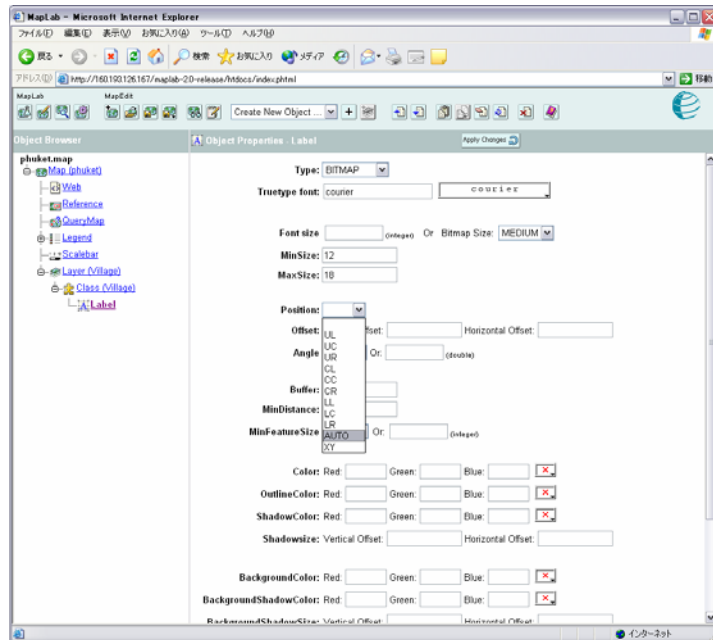
- 3.16. ラベルの表示に使うフォントを選択します。 TrueType font パラメータのフォント選択ボタン  をクリックすると、Font Picker パネルが表示されます。適切なフォントを選択して Ok ボタンを押してください。




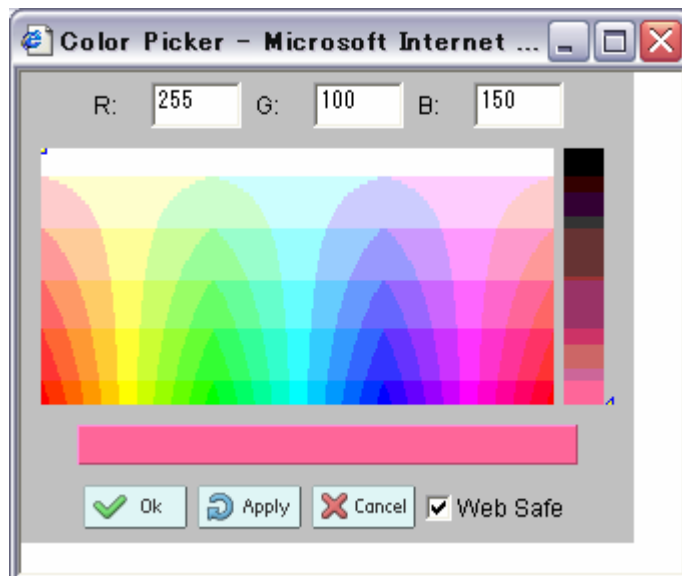
- 3.17. 次に、Type パラメータで TRUETYPE と BITMAP のどちらを使うかを選択します。



- 3.18. 地図上でラベルを表示する位置を選択します。 Position パラメータのプルダウンメニューを使って AUTO を選択してください。




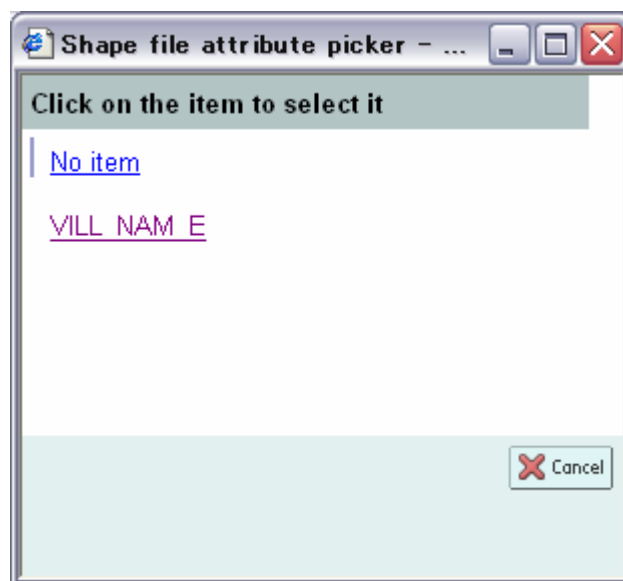
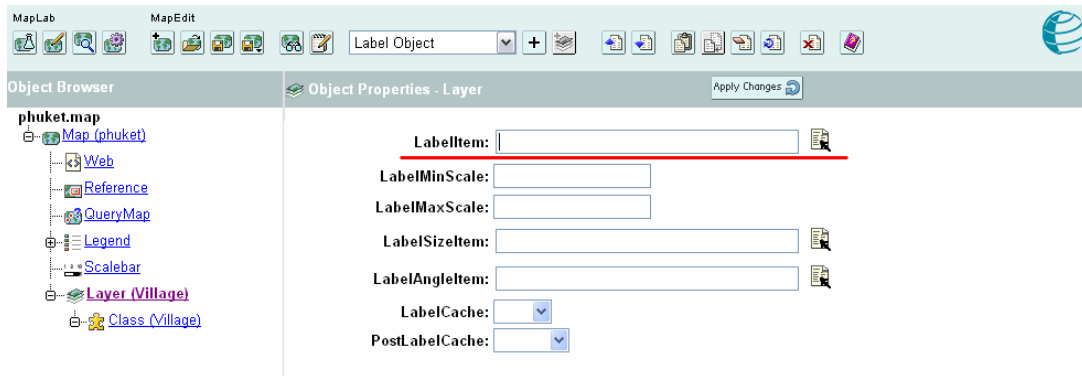
- 3.19. 次にフォントの色を選択します。 Color パラメータで RGB の値を入力するか、マウスで色を選択するためにボタン  をクリックしてください。ブラウザによってはマウスで色を選択できません。その場合は、キーボードで RGB 値を入力して色を定義してください。



- 3.20.  をクリックして、MapFile を保存してください。

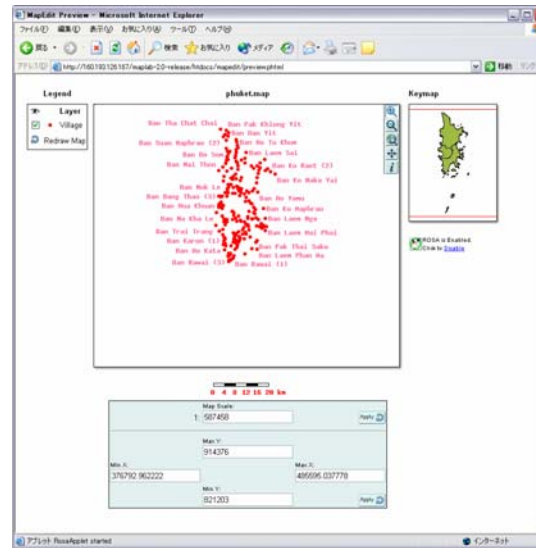
3.21. Shape ファイルから表示するラベルを指定する必要があります。
Object Browser の Layer(Village)を選択してください。

3.22. LabelItem パラメータのファイル選択ボタンをクリックしてください。パネルが表示されるので VILL_NAM_E を選択してください。



3.23. をクリックして、MapFile を保存してください。

3.24. 保存した MapFile をプレビューすると、下のようなラベルが表示されます。



4. まとめ

このモジュールではタイのプーケットのデータ (DCGM III) を使って MapFile にレイヤーオブジェクトを追加する方法を説明しました。また, MapLab RAD を使ってマップレイヤーに記号やラベルを追加する方法を説明しました。